

大阪日日新聞

7月21日(土)
2012年(平成24年)

朝刊1部 **80円**
さらにお得な月極め1カ月 **1,995円**

発行所
新日本海新聞社
大阪本社
〒大阪府中央区博労町2-6-8
電話(06)6120-1800(代表)
FAX(06)6120-1811

記事・情報提供は
編集(06)6120-2312
大阪の広告は
営業(06)6120-2310
鳥取・山陰地区の広告は
(06)6241-7872
配達・購読は
販売(06)6120-2311

購読申込専用フリーダイヤル
0120-728-468

大阪日日新聞・週刊大阪日日新聞・日本海新聞ホームページは
大阪日日 | 検索

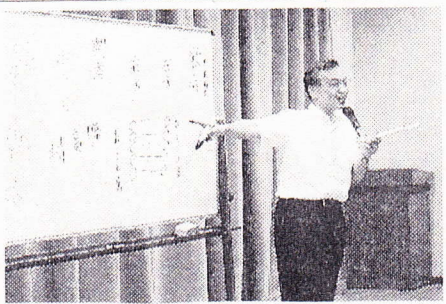
ことば遊びで 脳トレーニング

なぞなぞなど解説

●阿倍野区

しゃれや判じ物

など日本古来の「ことば遊び」を通じて脳を鍛える講演会が、阿倍野区阿倍野筋3丁目の市立阿倍野市民学習センターで開かれた。大阪教育大の小野恭靖教



「鈍字」や「なぞ」など「ことば遊び」について解説する小野教授

授が講師となり「なぞ」や「文字遊び」についてレクチャーした。古典文学に多く見られる「ことば遊び」を通して、日本語の豊かさを知り、思考能力を鍛えることを目的に同

センターが昨年からは開いている。今回は平安時代から見られる「なぞなぞ」や、江戸時代に流行した「鈍字」について解説した。

「枕草子」に出ている「天に張り弓」で「月」という答えのなぞなぞや「麻」と書いて「せんたく(鬼の居ぬ魔)」と読ませるものなど実例を挙げて説明。難問奇問の多くに約100

人の来場者らは悪戦苦闘していた。

小野教授は言葉による遊びについて「大阪は江戸時代から名物と呼ばれるほどの盛んな地域。子どもにとって言葉を覚えるのに面白さは重要な要素だし、シニアには気づかなかった思考を気づかせる役割がある」と効用などを話していた。

(椎葉直)